

猪名川流域下水道の沿革

- 昭和40年（1965年） 豊中市公共下水道原田処理場第1系列建設着手
流域5市（豊中市、池田市、箕面市、伊丹市、川西市）による「猪名川流域下水道建設に関する覚書」を締結
関係市による流域下水道建設計画の調整のため連絡会議を設置
流域5市の議会決議により猪名川流域下水道として発足
- 昭和41年（1966年） 第1系列1/2施設供用開始（処理能力31,150m³/日） 豊中市通水
猪名川流域下水道都市計画事業認可をうける
執行機関として国から左岸幹線および処理場は豊中市が、右岸幹線については伊丹市が指定をうける
- 昭和43年（1968年） 建設省都市局長通達により流域下水道の事業主体が大阪府および兵庫県に移行（下水道法第3条第2項）
猪名川流域下水道事業に関する覚書を府県間で締結
- 昭和44年（1969年） 流域5市広域下水道通水式典挙行（4月25日） 池田市、箕面市、伊丹市通水
第1系列3/4施設供用開始（処理能力46,700m³/日）
- 昭和45年（1970年） 下水道法改正により、流域下水道が法制化され、府県管理が制定される
第1系列全施設供用開始（処理能力62,300m³/日）
- 昭和46年（1971年） 第2系列建設着手
猪名川流域下水道新計画実施 6市1町1村構成になる（宝塚市、猪名川町、東能勢村追加）
- 昭和47年（1972年） 流域下水道施設の維持管理に関する覚書の締結。府県→（委託）→関係市町→（内処理場委託）→豊中市
- 昭和48年（1973年） 第2系列1/2施設供用開始（処理能力52,300m³/日 計114,600m³/日）
- 昭和49年（1974年） 宝塚市通水、川西市通水
- 昭和51年（1976年） 第2系列全施設供用開始（処理能力104,600m³/日 計166,900m³/日）
- 昭和53年（1978年） 第3系列建設着手
- 昭和57年（1982年） 第3系列（A列）供用開始（処理能力84,700m³/日 計251,600m³/日）
猪名川町通水
- 昭和59年（1984年） 豊能町（旧東能勢村）通水（流域関係全市町通水）
- 昭和61年（1986年） 第3系列（B-1列）供用開始（処理能力42,350m³/日 計293,950m³/日）
- 昭和63年（1988年） 第3系列（B-2列）供用開始（処理能力42,350m³/日 計336,300m³/日）
- 平成 3年（1991年） 第3系列（C-1列）供用開始（処理能力42,350m³/日 計378,650m³/日）
- 平成 5年（1993年） 第3系列（C-2列）供用開始（処理能力42,350m³/日 計421,000m³/日）
- 平成 7年（1995年） 第3系列 卵形消化タンク（タンク容量12,800m³）土木学会技術賞受賞
- 平成 8年（1996年） 猪名川流域下水道展示・資料室「水のワンダーランド」オープン
- 平成10年（1997年） 第3系列（A-1列）高度処理施設供用開始（処理能力23,580m³/日 計402,230m³/日）
- 平成12年（2000年） 第3系列（A-2列）高度処理施設供用開始（処理能力23,570m³/日 計383,450m³/日）
- 平成13年（2001年） 第3系列（D-1列）高度処理施設供用開始（処理能力23,570m³/日 計407,020m³/日）
- 平成14年（2002年） 第3系列（B-1列）高度処理施設供用開始（処理能力23,580m³/日 計388,250m³/日）
- 平成15年（2003年） 第3系列（D-2列）高度処理施設供用開始（処理能力23,570m³/日 計411,820m³/日）
スカイランドHARADAオープン（4月7日）
- 平成16年（2004年） 第3系列（B-2列）高度処理施設供用開始（処理能力23,580m³/日 計393,050m³/日）
- 平成18年（2006年） 第3系列（C-1列）高度処理施設供用開始（処理能力23,580m³/日 計374,280m³/日）
- 平成20年（2008年） 第3系列（E-1列）高度処理施設供用開始（処理能力35,000m³/日 計409,280m³/日）
- 平成21年（2009年） 第3系列（C-2列）高度処理施設供用開始（処理能力23,570m³/日 計390,500m³/日）
急速ろ過池供用開始（幅8.0m × 長さ10.0m ろ過速度300m/日 10池）
- 平成28年（2016年） 第3系列（E-2列）高度処理施設供用開始
（処理能力35,000m³/日 計425,500m³/日 内高度処理能力 258,600m³/日）
- 平成29年（2017年） 再生可能エネルギー電気の固定価格買取制度（FIT制度）を利用した民設民営による消化ガス発電事業の開始
- 平成31年（2019年） 塩素混和池供用開始（幅8.0m × 長さ40.1m × 水深3.7m 1池増設）
- 令和 2年（2020年） 急速ろ過池供用開始（幅8.0m × 長さ10.0m ろ過速度300m/日 2池増設）
- 令和 4年（2022年） 第1系列（62,300m³/日）12月停止（処理能力 計363,200m³/日 内高度処理能力 258,600m³/日）